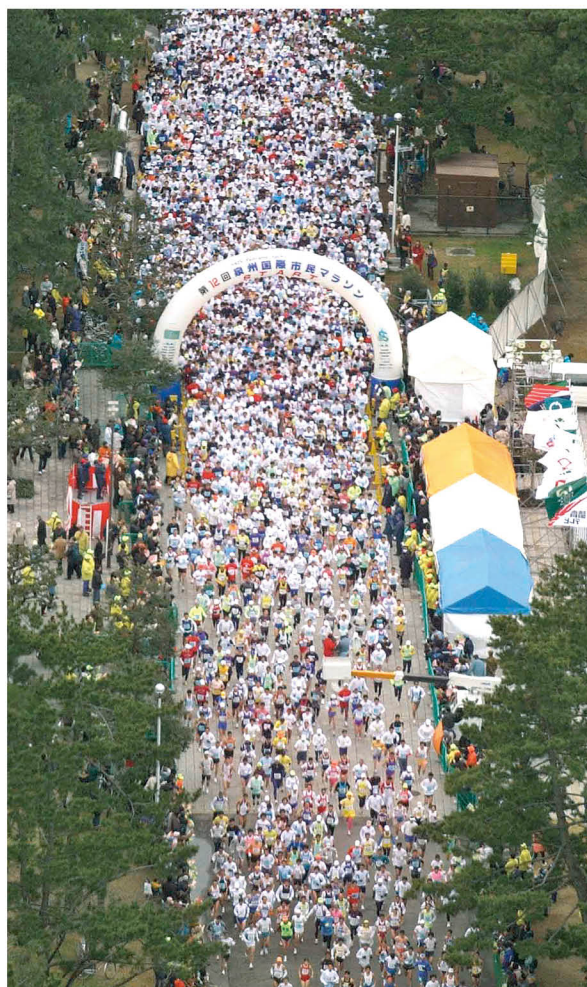


泉州国際市民マラソン 第12回大会 2005年(平成17年)

SENSHU INTERNATIONAL CITY MARATHON THE 12th CONVENTIONS



女子 280 人を含む 2728 人が参加して 12 回大会がスタート。今回はシドニー五輪女子マラソン 7 位の山口衛里(天満屋)の招待で前評判を高めた。男子優勝は、招待選手中森一也(大塚製薬)が 40km 付近から抜け出し、原口幸一(沖電気)を振り切って 2 時間 18 分 13 秒のタイムで初マラソン初優勝に輝いた。女子は新城かおり(東芝松下ディスプレイ)が 25km 地点で女子先頭集団から抜け出し、2 時間 44 分 21 秒で初優勝を果たした。期待された山口衛里は 17km 付近で途中棄権した。今年も堺市出身の双子姉妹のモデル・タレント(アン・ドウ)の妹里美が完走した。また、交通事故によって視力を失った酒元直美選手(淀川区)は伴走者と一緒に自己ベストで快走した。初回から参加している 1953 年ボストンマラソン優勝の山田啓蔵選手はフルマラソン 300 回出場と、延べ 33 万 8000km の走破を成し遂げた。

2月20日 日

天 候: 曇り
気 温: 8.5℃
参加者数: 2,728人
完走者数: 2,136人
沿道人数: 18万人



尚、この大会でマラソン歴 25 年、フルマラソン出場 60 回のベテラン選手が心肺停止になり倒れたが、後続のランナーであった大阪市消防局の救急救命士と熊取町消防本部の救急救命士、府立泉州救急救急センターの男性医師、女性看護師が協力して心臓マッサージなどを施し、自動対外式除細動器(AED)による救急がなされ蘇生した。マラソン大会では国内初めてのことであった。この事例が読売新聞やNHKなど広く紹介され、昨年 7 月より日本でも一般使用が解禁された AED を空港や学校、スポーツイベント会場等に広範囲で配備されるようになった。



一斉にスタートする参加者たち



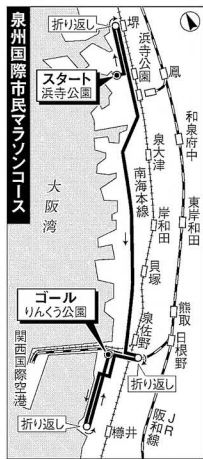
春風受けて競え健脚

泉州国際市民マラソン

早春の泉州路を市民ランナーが駆け抜ける。「第11回泉州国際市民マラソン」(泉州国際市民マラソン実行委員会主催、読売新聞大阪本社、読売テレビなど後援)が20日、開赛される。2000年シドニー五輪で女子マラソン7位の山崎里選手(31才、読売新聞大阪本社)が、第1回が連続出場しているシンガー・ソングライターの高石ともやさん(63才)が特別招待選手を含む約2千人が健脚を競う。

3000人参加、20日号砲

大会は泉州九市四町も共催する。招待選手を除く出場者は、応募があった四千三百三十人の中から抽選で決定。約四千人のボランテアが運営を支える。当日は午前十一時、堺市分台の記録を持つマクセル・シンドロ・ムセンビ選手(ケニア)・一九九七年福岡国際マラソン十二位の▽堺市・ドモシヨアリジジ南側 40分13秒9(堺市駅前)5分11秒15分15秒21分



2005年(平成17年)2月13日付朝刊



参加選手に声援を送る

泉州国際市民マラソン

山口ら招待選手多彩

20日号砲

20日にわたる泉州国際市民マラソン(読売新聞大阪本社主催)の特別招待選手が7日発表された。シドニー五輪女子マラソン7位の山崎里選手(31才、読売新聞大阪本社)が特別招待選手として参加する。また、大阪府の女子マラソン選手として活躍する佐倉あかね(28才、読売新聞大阪本社)も特別招待選手として参加する。また、大阪府の女子マラソン選手として活躍する佐倉あかね(28才、読売新聞大阪本社)も特別招待選手として参加する。



ほかに、五三年のボストンマラソンで優勝し、今大会最高齢の山田敬蔵(107才、大阪府)や、堺出身の双工南(15才、大阪府)も特別招待選手として参加する。また、大阪府の女子マラソン選手として活躍する佐倉あかね(28才、読売新聞大阪本社)も特別招待選手として参加する。また、大阪府の女子マラソン選手として活躍する佐倉あかね(28才、読売新聞大阪本社)も特別招待選手として参加する。

2005年(平成17年)2月5日付朝刊



沿道で声援を送る生徒ら



式には、大会を共催する泉州九市四町の首長も参加。実行委員長の向井通彦・泉南市長が「日々の練習の成果を十分に発揮し、思い出に燃えるレースにしてほしい」とあいさつ。山口選手は「一連の練習に集中して走り、ゴールまで頑張りたい」と意気込みを語った。

2005年(平成17年)2月20日付朝刊

泉州国際市民マラソン

350人開会式で決意新た

唐須さん「力いっぱい走り抜ける」

泉州路を力いっぱい走り抜ける。唐須さんは、大きな拍手が響きわたった。同マラソンは、二千二百一十一時、堺市の民寺公園をスタート。高石から泉南市まで走り、後、折り返して、ゴールのりんく公園高架下駐車場(泉佐野市)をスタート。



泉州国際市民マラソンによせて

泉佐野市長 千代松 大耕



ます。

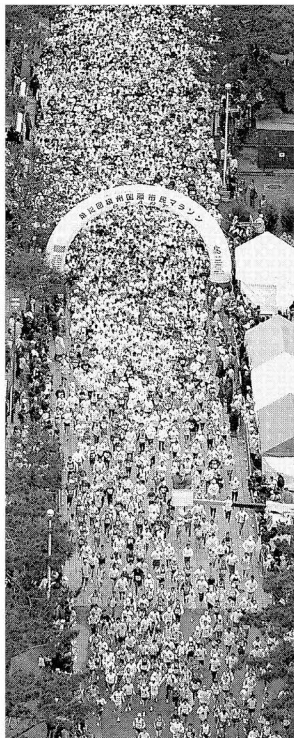
さて、本大会は、平成6年に関西国際空港の開港イベントとして、泉州9市4町が一つになって広域行政の推進及び泉州地域の活性化、国際化を目的として始まりました。以来、当初参加定員3千名であった本大会も、昨年の第19回からは東日本大震災復興支援チャリティーマラソンとして開催され、4千名を超える多くのランナーにご参加いただくなど、回を重ねるごとに盛大になってまいりましたことは、誠に喜ばしい限りでございます。

また、近年、人々の健康に対する意識の向上に伴いマラソン愛好家が増加し、本大会への関心もますます大きくなりつつあり、今後も更なる発展に向けた事業展開が望まれているところです。

さらに、本大会の開催に際しましては、多くの市民ボランティアの皆様にも、ある年は雪が舞う中、またある年は冷たい雨の中と大会を支えていただくとともに、沿道では多くの市民が声援を送るなど、まさしく「市民マラソン」という名称がふさわしい大会であるかと存じます。ここに改めて、長年にわたり本大会を応援していただきました泉州地域の住民の皆さまに対しまして、深く敬意を表する次第であります。

本市としまして、少子高齢化が急速に進展する中、市民の皆さま一人ひとりが健康で心豊かに暮らし続けるためにも、生涯にわたるスポーツ活動を推進しているところであり、引き続き本大会が泉州地域のスポーツ振興に大きく寄与することを期待しています。

最後になりましたが、これまで本大会の運営にあたりご尽力いただきました関係各位とご協賛企業の皆様、並びに地域の皆様方に心から感謝を申し上げますとともに、泉州国際市民マラソンの今後益々の発展を祈念申し上げます。



一斉にスタートするランナーたち(20日午前11時、堺市の浜寺公園で)＝本社へりから

泉州国際市民マラソン

早春の群馬県市民ランナーが疾走した。二十日開かれた第十一回関東国際市民マラソン（同マラソン実行委員会主催、読売新聞大阪本社、読売テレビなど後援）。気温8・5度。時折、冷たい小雨が降る中、国内外から参加した約千七百人が群馬をスタートし、ゴールの紫波野市りんくう公園を目標とした。レース終盤からは高空もので、白い息を吐いて駆け抜けたランナーの姿に、沿道の観衆が感嘆した声援が送られた。

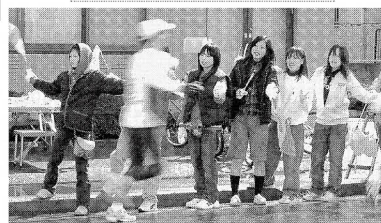
气温8.5度

□スタート ■
堺市の浜寺公園。一たちは吹き付け雪を使えさせながらと握手したり、記念納まったり。リラックした様子で出発を待つ午前十一時、大会

「体力の限界を克服し、先走する」ことを期待します」とあいさつ。直後に号哭が響き、陸上自衛隊信太山駐屯地音楽隊が大会テーマ曲「負けないで」を演奏する中、ランナーは長い列を作って走り出した。	＊の走り込み大会には、県長の向井進雄・奈良市長の両氏も参加した。
泉大津市のグレイターから初参加し	来年の底にスタの更新を
と力を込めた	と力を込めた

援が力になった。そして、自己肯定感も高まり、目指します」

白い息吐き 2700人疾走



沿道

約十五人。市調

「張つてー」。同中の森田希子さん(14)は「先生の姿を見て、ほれ直した」

ん(43)は3時間20分59秒でゴールに飛び込んだ。「二
十五分付近でペースが落

生徒らに声援

沿道

一丁三丁の間の良泉寺で略
派は、近の同市立東
中、同西の同市立東
約千人が、あきあきと
「完走」をなごさッセ
ーを書い、催事をして、
ランナーたちを交わ
しなから応援だ。

よく休めたランナー！
ソクタイトの黒石さん
やん63は、毎年成し遂
てくれるものだから長
ていて感激です。応援
元をもらひました。

終盤で再び三丁、地蔵泉
南内内のショップケン

双子姉妹
ロール■



レースを終え、抱き合うアン☆の2人（衆生団のりになう公明党天下を賭す男）

[illegible]

有る。二、三の時間、公の粉砂を走
 る。二、三の時間、公の粉砂を走
 十五分付近でペースが終
 ち、後は悠々かつたが
 一頭強れ、頑強にとのつ
 だに後押して走定で
 一思いに獲るばら
 馬になった。とき
 わかに美顔ふせけた

2005年(平成17年)2月21日付朝刊

歌手の高石ともやさんが
中済さんの伴走



2月20日に大阪府で開かれた第12回泉州国際市民マラソンで、レース中に倒れて心肺停止になった同府内の無職男性(70)が、自動体外除細動器(AED)による心臓への電気ショックで命を取り留めていたことがわかった。マラソン大会でランナーをAEDで救命できたのは国内で初めて。事務局によくと、男性は午前11時に堺市のスタート地点を出発し

除細動器

心肺停止ランナー救った

昨年7月に
解禁され初

てから、まずで突然、倒れた。後ろを走っていたランナーのうち、大阪府消防局の救急隊士(41)、熊取町消防本部の救急隊士(34)、府立泉州救命救急センターの男性医師(40)と女性看護師

(31)の4人が駆け寄り、協力して心肺マッサージと人工呼吸を始めた。さらに並走していた救急車からAEDを取り寄せ、倒れて2〜3分後に電気ショックを施したところ

施設、学校などへの配備が進みつつある。操作が簡単で誤作動は極めて少ない、除細動が必要は状態でない(電気は流れないので誤作動の心配はない)。男性はマラソン歴2年、フルマラソン出場60回を超すベテラン。心筋梗塞とわかり、入院してリハビリを続けている。

2005年(平成17年)3月15日付夕刊

泉州国際市民マラソン



激しいトップ争いを繰り広げる中森、原口(右から、25%付近で)

中森初マラソン優勝

2時間
18分13秒
女子は新城栄冠

第12回泉州国際市民マラソン(20日、大阪府堺市中央公園、堺市市役所前)で、初のフルマラソンを走り、2時間18分13秒で優勝した。中森は、大阪府立泉州救命救急センターの男性医師(40)と女性看護師(31)の4人が駆け寄り、協力して心肺マッサージと人工呼吸を始めた。さらに並走していた救急車からAEDを取り寄せ、倒れて2〜3分後に電気ショックを施したところ、施設、学校などへの配備が進みつつある。操作が簡単で誤作動は極めて少ない、除細動が必要は状態でない(電気は流れないので誤作動の心配はない)。男性はマラソン歴2年、フルマラソン出場60回を超すベテラン。心筋梗塞とわかり、入院してリハビリを続けている。

2005年(平成17年)2月21日付朝刊



優勝 第12回大会

男子
大塚製薬

中森一也

女子
東芝松下
デイスブレイ

新城かおり

